

ミレニアムカップ空手道大会 大会ルール

平成 21 年 12 月 20 日 改定

手による顔面攻撃なしのポイント & K0 ルール (つかみ不可)

(基本的には一般に行われているフルコンタクトルールに基づく)

ヘッドガードは主催者側で用意したものを着用

手足のサポーター、ファールカップは各自持参の上着用 (ボディプロテクターは使用せず)

試合時間 小 3 以上 = 本戦 1 分半 延長 1 分 マスト判定

小 2 以下 = 本戦 1 分 延長 1 分 マスト判定

攻撃部位 下段、中段、上段

反則部位 金的、喉、後頭部、及び上段への膝蹴り

有効打判断基準

1, 反則部位を除く箇所へ技が入り、倒れた場合 「一本勝ち」

2, " 一瞬でもひるんだ場合 「技有り」

技が入って倒れた場合でも主審の判断でスリップダウンとみなされるものは技有りとする。

上段への攻撃はクリーンヒットすればすべて技有りとする。

(ただし、かすただけであると主審が判断した場合は技有りにならない。)

○技有り二本で合わせ一本勝ち。

3, 相手にダメージを与えられないが、有効部位に技が入った場合 「効果」

「効果」ポイントは試合中に主審が宣告せず、副審が各自小さな旗の振りによってカウントしておき、判定時の材料とする。(効果がいくら入っても技有りには及ばない。)

勝敗

1, 試合途中での一本勝ち

2, 試合時間終了時に技有りを取っている者の勝ち。

3, " 技有りの差がない場合に判定を行い、審判員(主審を含む)の多数が優勢と判断した者の勝ちとする。

4, 副審の旗が赤、白、引き分け等に分かれた場合の最終的判断は主審が下す。

試合途中で泣き出す等により円滑に試合を続行することができないと

主審が判断した場合は相手方の勝ちとする。

判定基準 (次の順序で考慮し、総合的に判断した上で優劣を判断する。)

1, 有効打数 (効果ポイント数) が多い。

2, ポイントが同点でも試合内容を優勢に進めている。(場外回数等を含む。)

3, 気迫、気合が勝っている。